



瑞穂市マスコットキャラクター  
「かきりん」

## 第21回 市町村研修担当者に聴く～瑞穂市～

令和5年4月1日号

研修センターでは、「市町村自らの手による自らの研修実施」という基本理念のもと、各種研修機会の提供のほか、研修情報の提供、市町村等の自主的な取り組みについて積極的な支援を行っていきたいと考えています。今回は瑞穂市役所にお伺いし実際の取り組みや研修業務に対する熱意をお聴きしました。

### 瑞穂市役所 総務課 森川 正 さん

#### Q1.研修センターへの受講者を募集する際、工夫している点について



研修受講者を募集する際には、研修タイトルをよりキャッチーなものに変更しています。また終了した研修についてもイントラネットに残して研修名だけはいつでも見られるようにしています。そうすることで来年度受講してみようかなという気付きにしたいと思います。



#### Q2.単独で行っている研修・取り組みや、広域で開催している研修について



新規採用職員に向けて6か月間オンラインの動画研修サービスを利用しています。

数多くの動画を期間中なら視聴でき、自分が興味のある動画を選んで視聴します。この研修は行政職だけでなく、研修の機会が限られている保育士の職員も活用しています。受講者からは、次の新規採用職員にも薦めたいという意見が多くありました。今後も継続していくことを考えています。

令和4年度は、地方公務員アワード受賞職員のかたをお招きして「自治体職員のための心の運転方法」と題し滞納整理の観点からのウェルビーイングについての研修を開催しました。近隣市町からも多数の職員にお越しいただき、全体で約90名の参加となりました。

他には、岐阜連携都市圏として岐阜市が中心となり圏域の周辺7市町でタイムマネジメントに関する研修に参加しました。リアルタイムでのオンライン配信研修で、スクリーンに映し出して複数名の参加で仕事の効率アップのテクニックを学びました。

### Q3.人事交流など、他の機関への派遣について



現在職員の派遣としては、瑞穂市社会福祉協議会と岐阜県庁の2つがあります。以前は、後期高齢者医療広域連合などへの派遣実績もありました。社会福祉協議会について、部長級の職員が事務局長として派遣されています。

### Q4.職員への自己啓発の支援について



岐阜県から提供された DX 関連の動画を職員と情報共有しています。RPA、ICT トレンド、BPR 手法をそれぞれ学ぶ内容で、それを無料で視聴できるという利点もあり、自己啓発意欲の向上に努めています。

### Q5.研修担当者として今後どのような研修を開催したいと考えていますか？



市民サービスに繋がるような研修を開催したいと考えています。第一に考えなければならないのは市民サービスの向上だからです。特にインプットだけではなくてしっかりアウトプットができる研修を心がけています。

来年度考えている研修として、職員向けのセミナーを計画しています。当市では、400人弱の職員がいますが、各課でやっている業務が分からないという意見がありました。例えば、〇〇課は今年度こういった業務をやっているというのを伝える場を設けて情報共有を図りたいと思います。当市の実施する主な事業に対して、全ての職員が所属課に係わらず知っておく必要があると考えました。こうした研修を通して自らの業務に対して気付きを与えられるかもしれないからです。

### Q6.研修担当者として心がけていることは？



先ほどの質問と重複する部分ではありますが、市民ファースト、市民協働という部分を意識しています。職員の業務が多様化して、どうしても職員だけでは困難な要望を市民のかたにお願いせざるを得ないことが増えてきています。受講した研修を通して、市役所職員としてやれること、市民のかたにやっていただけることそれぞれを把握していくことが狙いです。

#### 編集部より

年度末業務のお忙しい中、インタビューをお引き受けいただきありがとうございました。瑞穂市では、新規採用職員に対して行っている動画研修サービスの取り組みが強みに感じました。新規採用された意欲のある職員が時間を選ばず学習できる機会があるというのは素晴らしいと思います。

森川さんからお話のあった市民協働については、「住民協働によるまちづくり研修」や「ワークショップ・ファシリテーション研修」で他自治体、団体と多様な経験ができるので来年度はぜひ研修機会を活用してほしいと思います。